

みんなの ひち おも い 帖

聞きとり集

Vol.1



ふるさと、甲奴町小童
 ここで生まれ育った人、
 ここからまちへ出た人、
 そして戻って来た人、
 ここにお嫁に来た人、
 ここへ居住してきた人、
 小童に縁あるみなさん
 一人一人に大切にしたい思い出
 なつかしい場所があるはず。
 すこしふり返ってみませんか？
 あなたのふるさとの思い出を
 聞かせてください。

ふるさとを
 語ろう



上は、昔の祇園橋の風景の貴重な写真
昭和35年10月頃撮影

左は、現在の祇園橋
平成13年竣工（赤い欄干）



地元 に根ざして

うちはね、今の工場の所に、六反貧乏いうくらいだね、四反から五反の田を作りようりました。当時は大雨が降るとね、ほとんどが浸かようりました。また木の橋があつてね、親父やいろいろな出で守ろうとするんですが、結局流されたりした記憶があります。大雨の年には田に砂が入って、米も不作だった思い出があります。その川も、昭和

47年の大災害をもって、国の河川改修が行われました。橋も改修され利用させてもらっています。

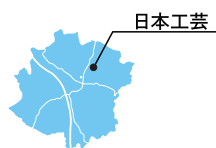
昭和52年に、現在の場所に工場を建てました。西日本豪雨の大雨の際も、ブロック一枚ぎりぎりの水位で、浸水の不安はありませんでしたけれども、ありがたいことに工場用地の水害はありませんでした。

私も地元を根をはやして、現在63歳になるまで生かしてもらいました。が、ただですね、宮部上組は、私が中学生になるまでは家が18軒あったんです。しかし、たった50年で宮部上組が9軒、半分になりました。戸数が減っていくというのは、もう寂しさそのものです。しかしですね、この地区の中で事業をやっている関係で、弊社には55名の社員を雇用しています。そういった意味では、上組の人口は減ったけど、しかし夜は煌々と明かりが点いていることで安心して暮らせる、お年寄りは喜んでくれています。そういう中で、ここ宮部上組

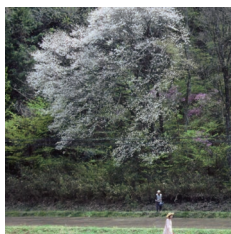
で、現在日本工芸43期目を迎えることが出来るということ。過疎化になつて人口は減つてもね、是非とも地域に貢献したいなと思っています。



●株式会社日本工芸
額縁・屏風の製造販売、表装、軸装、
書画の販売
作品にこめられた魂を宇宙に解き放ち、
見る人の心に無限の拡がり。



日本工芸



藤原佐千夫さん
昭和30年生まれ
甲奴町小童在住

小童川
株式会社日本工芸



お宝発見!?

私が小学校低学年の頃、大雨が降った年があって、我が家のトイが壊れて、隣の家の畑の一メートル下のゲシを少し壊してしまったんです。そこに穴が開いてい

て、文銭が大人の手のひらに二杯分ぐらい出てきたんでびっくりしました。偶然に発見した珍しいものだから、小学校へみな持っていて、少し持っていけばいいものを全部持っていったら、ワイワイゆうて、皆がみんな持って帰ったり、どっかへいつてしまつて、我が手には一つも残らんかつたんです。

隣の竹森のひいおばちゃんが大事にしていた桑の木の、ちょうど真下がお宝が出た位置でした。竹森さんの家には、綺麗な湧水が出ていて、近所の人もその水を利用している、大昔から一番いい場所だったんです。竹森さんは千二百年前の古文書にも姓が載っている、この土地の豪族だったんです。尼子軍は一番最初にその土地の力のある人を確保したから、竹森さんが一番当てはまつたんだろうと思います



たかし
藤原偕利さん
昭和13年生まれ
甲奴町小童在住

ます。当時の尼子軍は、銀山を持っていた、膨大な軍用資金の一部をここに埋めて、その一部を私が発見したんだろうと思うんです。うちの畑には古墳時代の土器がいっぱい出るんですよ。機会があれば、畑の一部を掘ってみれば、私の考えを立証できると思うんです。

探偵ナイトスクープの取材が来た時には、ほんとに埋蔵金が出ると一〇〇%確信を持って番組を呼んだんですけど、私のお父さんが置いた大きな石のある場所を掘ったんですが、出てきませんでした。私が勘違いしていて別の場所を掘ったんじゃないかと思うんです。石田靖さんが私の頭をなでて大笑いして帰られました。

あの時は埋蔵金は出なかったんですけど、私は今も違う場所にあると思うんですよ。チャンスがなければ永遠に埋まったままなので、ぜひ皆さんの協力を得て発見したいです。

平成20年9月23日に探偵ナイトスクープの取材がありました。



※探偵ナイトスクープ

視聴者からの調査依頼を直接出向いて一緒に調査するバラエティ番組。広島ホームテレビで金曜日深夜に放送中。



●窯跡

藤原さんの敷地で発見され、広島大学の発掘調査が行われた。室町時代ののぼり窯で多数の木炭や土器が発掘されている。



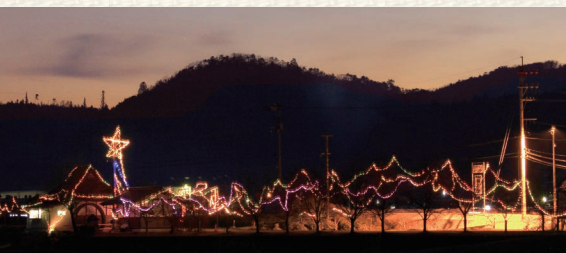
～イベントの風景～



花見会



小童年忘れフェスティバル



イルミネーション



初日の出の会



祇園茶屋



アンガールズ山根さん来店！

も赤くなり綺麗になりました。6月6日頃に大きいホテルがたくさん飛びます。祇園茶屋でお茶をよばれながら見に行ってください。これからのことを考える若い人、よろしくお願いします。

休憩場所「祇園茶屋」として運営していました。今は水車が動かなくなり、直す人もいなくなり、少し寂しいです。

また、駐車場に桜を植えて大きく育ち花見会をしたり、大仙山の上にあったイルミネーションを駐車場でしたり、と色々な行事をすることになりました。

他所の地区から小童には良いのができるけえいいですねと言われることがありますが、なかなかああいいう風にみんなで力を合わせてするということは難しくなりようりますと言われます。小童は団結力があっていろんなことができると思います。祇園橋



●祇園茶屋
営業時間 10:00～17:00
定休日 不定休
うどん ¥400
おむずび ¥100
そばもあります



花神雅子さん
昭和17年生まれ
甲奴町小童在住

祇園茶屋は、昔は広い田んぼだった所で、当時の振興協議会の考えで建てられました。祇園祭りの時に駐車場が足らず、道路の両端に駐車してずっと政広の奥の方まで自動車が並んでいたもので、それを解消するために駐車場が造られました。その後、田んぼの真ん中に水が流れていたもので、そこに水車が建てられました。それから、祇園さんにお参りに来られた人にお茶を出したり、うどんを出したりするところがあればいいねという話になって、水車に似合うわらぶき屋根の小屋を建てようということになりました。小童中の人に茅を刈ってもらって、屋根にしようという話になり、一束ずつ持ち寄って集めることができました。完成した後、小童女性会が、お茶やうどんを販売し、



オープン当時の店内の様子



祇園茶屋
祇園駐車場

～昭和初め頃のアルバムより～



広定尋常小学校
大正8年高等科第8回卒業



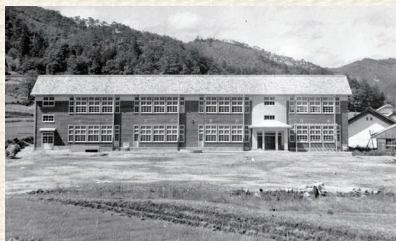
昭和11年 後ろにまばらに家が見える



昭和27年度卒業



昭和47年度卒業



昭和27年6月
出来たての旧校舎



昭和30年頃、3年生以上でのダンス



昭和29年3月 学芸会 講
堂が出来るまで様々な場
所で行われました。



昭和40年 写生大会



で、そこに足を突っ込んでむすびを頼張
りようった。弁当は梅干しぐらい。金持
ちの人は、うみゃーでよ言うてタラを
むすびと一緒に食べようってね、うらや
ましいなあと思って。

それから私が小学校一年生の頃
学校からの帰りに、大雨で川にえっと水
が出とって、どれくらいの水か体で確か
めたくなって、入ってみちやろうてえ言うて川に入ったんよ。そした
ら、どんぶらこっこ流れ出してね、傘を持つとんたんじゃけどそれを
友達が引っ張り上げてくれて助かったんよ。服を絞ってうちまで連れ
て来てくれたのを覚えてる。その助けた子は県から表彰されたんよ。
大恩人よ。いつも思い出しちゃあ感謝しようった。



どんぶらこ

で優等生になったんよ。風邪を引いて熱があってもね、親は学校へお
おて連れ行きようったんよ。休んじやいけんけえ。
履物なんかは、わらじでね、夜なべで作りようったんよ。私らの年
代の人は作り方をよう知つとつてよ。その頃は、最初は皆わら草履だ
ったんじゃけど、遅うにや金持ちの人はゴムの草履を買うてもろうて
西教寺の下の溝の中をゴムの人は履いて歩くんよ。気持ちがあえじゃ
ない。わら草履の人は脱いで持ってから裸足で歩くんよ。うらやまし
ゆうてね。

帰り道に、碎石の近くに大きな淵があつてね、そこで夏なんかには
泳ぎようったんよ。私らは、道路の上の溝にきれいな水が流りようつ



昭和14年3月卒業生

昔はいじめらりようった
んよ、女子は。袖がカリカ
リのガンボな大将がおつて
ね、車にとじ込められたり
して。今じゃ懐かしい思い
出じゃけど。

あの頃はね、学力優秀、
品行方正、皆勤、この三つ



大前トモエさん
大正13年生まれ
甲奴町小童在住



広定尋常小学校
小童川



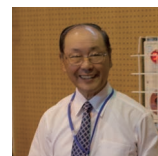
昭和62年7月30日、八幡さんでラジオ体操



春日井八幡神社



中間宣彰さん
昭和26年生まれ
甲奴町小童在住



宮地殉司さん
昭和19年生まれ
甲奴町小童在住



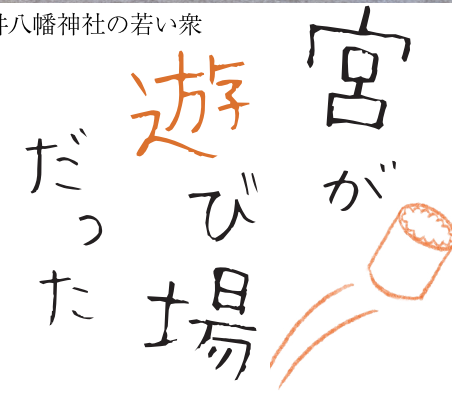
奥田義行さん
昭和11年生まれ
甲奴町小童在住



昭和51年7月18日撮影 んおんさん神輿 春日井八幡神社の若い衆



昭和30年頃、小童神儀団 武塔神社



春日井八幡神社

宮が遊び場所だった。

あの当時は『ちよんがべーす』とか、『缶けり』とか。『ちよんがべーす』いうたら、穴ほって棒を一つやってえて、ちよんちよんといくねえ、取られちゃいけんねえ。『缶けり』いうのは、隠れてえて鬼より先に缶を蹴りゃええんよ、かけていって。見つけたら鬼が行って踏みよったよの、よう踏まにゃ蹴るねえの。とにかく缶を蹴って隠れるねえ。見つけれられたらのお、鬼が缶にタッチすりゃあええねえ。先いの、見つ

けられたもんが、先い行って蹴りゃあ、また隠れるねえ。

『お釘立ち』もしようったろ、陣地を作っての、筋をひっぱりようたねえのお、筋のねきに打ちようたのうや。蜘蛛の巣みたいなかっこになりようたよのう、そうにかこようったよの。

神社が遊び場よう。テレビもなんもない時代じゃけの。へえから『ドッチボール』よ、かけていってちいと広え所にの、ぶつけて押されて出したりの。『ペッチ』がありようった、今というメンコ。上着を利用して風をおこすねえ。わしらあの頃は『ケンカごま』をしようったよ、鉄の輪っかがひっちいたのが。

切松の人は、二宮さんいうての、二宮さんに行きようった。中倉から上が宮へ来ようったんよ。ラジオ体操も切松だけは別にしようった。

～昭和終わり頃のアルバムより～



昭和34年頃



昭和57年



昭和62年



昭和50年頃の藤原ストアー



小学校横の田んぼで風を上げています



とんどでお餅を焼いて食べています



昭和60年 プールで鯉をすくっています

なった。それで郵便局員になったんよ。試験の時には挨拶に行ったよ、前の局長さんに時にね。そう思やあすごいね、今郵便局で働きようるんじゃけえね、それがきつかけだったかもね。藤原店の隣が自転車屋さんだったよね、松田谷の旦那さんがやりようちゃった。あそこで自転車買ったんよ、ちっちゃい頃。そういう思い出があるね。



小童小学校

思い出の場所というと、こちら辺でいうとプール。あの頃は、今の消防の屯所あたり、小学校から離れたところにプールがあつて、昔はよう、夏休みには毎日、行かん日はまずなかった。1時から3時までプールで、3時から小学校へ行って遊んで帰ると。
昔は小学校、裸足だったよ、みんな。小童小学校は裸足だったよ。木造だったけえ、ようソバリが立ちようったよ、足の裏に。今じゃ絶対考えられんけどね。
小学校のメインストリートには、高橋医院があつて、館上さんが服屋さんだったよね。農協があつて、小学校のすぐ横に郵便局があつたよね。俺いっつも記念切手を買ようった。あれで局長さんとも仲良う



宮地 潤さん
昭和47年生まれ
甲奴町小童在住



小童小学校 旧水泳プール



昭和62年9月4日 水泳記録会



小童小学校
広定郵便局

市場・桂正寺・山根・埵・麓



ぎおん橋（旧むとう橋）

私が小学校低学年の頃だったと思うのですが、年に一回、ぎおん橋の所で、川の井関を落として川の水を抜いて、魚を取る事をされていて、参加した思い出があります。

私の祖父に連れられて参加し、大人は投網など使い、子供は網を持って参加していました。黒鯉、ナマズ、ハエなどを狙って一生懸命川で走り回っていました。ウナギもいるかもと必死で川草の中に網を突っ込んで探していました。私はハエぐらいしか捕れませんでした。大人は黒鯉やナマズを投網で捕っておられものすごく興奮したことを覚えています。

捕った川魚は、ぎおん会館へ持って帰り、そこで調理をして食べました。すぐにさばいて、天ぷらやから揚げにして、それを肴に大人たちは酒盛りを始めていました。私はそこで初めてナマズを食べたことが衝撃でした。味の記憶はあまりないのですが、とにかくナマズを食べた記憶は鮮明に覚えています。よほど印象に残っているんだ



落畑幸也さん
昭和50年生まれ
甲奴町小童在住
平成29年Uターン

と思います。

毎年やっていた記憶は無く、二、三回くらい参加した記憶しかないのですが、子供心に魚を捕って遊べる楽しさと、普段なかなか入る事ができない川の底に入る事でできた好奇心で、本当に興奮した記憶があります。



小童祇園祭り

七月第三日曜日・月曜日・火曜日（三日間）
ぜひお越しください



昭和30年7月 境内での興行風景



広島県無形重要文化財 矢野神儀団

1200年の歴史をもち、備後三大祇園のひとつ須佐神社の例大祭。三体神輿、神祇の渡御、提灯行列など見ごたえのある神事の続く3日間。



昭和30年7月 祇園祭り風景



日本一の大神輿 動く神社



三体神輿



露店が軒をつらねにぎやかでした

う？ 何にしても終わっちゃあい
けん、へじえあどうするか。一つ
の方法として、今の神輿さんみた
いに、いろいろな所からでもえ
え、誰でも習うてくれたらええ、
いうてあちこちから好きな人が寄
って、参加してもらうのがええん
じゃないかの。歴史のあるもんじ
ゃけえ絶えてはいけん。
こがんいう話を聞いたたり、掘り
出してくれるいうのは嬉しいよ。

て歴史をつなげていくんじゃ、いうことを三年間言い続けて無形文化財
の登録をしてもらった。いつの頃から始まったのかはわからん、ただ伝
えられてきたものを伝えていく、そういう気持ちだったけえ。
祇園さんに行くには、昔は山車は担いで行きようった。頼藤で春日井
と合流して、新谷一さんの所で茶を一杯よばれて、あすこで一しきり叩
いて、また担いで大原の所で市場と合流する、今度は神儀団が三つ揃っ
て休憩せずに武塔さんに上がる。昔はもう宮部の方はずああと人がおっ
て、歩けんぐらい人がおって、今は寂しいもんじゃが。昔は祇園さんは
楽しみで楽しみで、やっぱり太鼓を打ちようたら、ファンがおったん
よ。「ちゃんとでやけえやあ」言うて凄かった。
穀の結婚式でも親子で叩いたよ。叩いたら好評だった。ありやあ良か
ったというて。太鼓にまつわる話はええとあるけえつきんよな。
今は子どもがおらんけえの、伝えるいうても、やりようがないよの
お。全部出てしもうて。保存会を続けていくにはどうすりやあええ思
う？

祇園さんに行く時の子どもが叩く大神楽太鼓は、七人しか叩けなかつ
たんよ何で七人しか叩けなかったかというて、袴が七つしかなかった。
子どもがよおけえおったけえ、四・五年生ぐらいから叩きようった。昔
は七月十四日が祇園さんだったけえ、七月くらいになると、学校から帰
ったら毎日練習しようった。楽しみで。大人も多いけえ、なかなか極打
ちもさせてもらえんかった。
極打太鼓は、後々にも残しておかやあいけんもんじゃいうことで、
保存会を作って町の無形文化財にしてもらおういうて、文化財保護委員
の高杉先生に頼んでみたんよ。色々調べても極打ち太鼓の成り立ちはわ
からんかったんじゃが、歴史いうのはある程度は作らにやいけん、そし



昭和30年7月 祇園祭り 武塔神社



塩貝大神楽極打太鼓



松本弘己さん
昭和13年生まれ
甲奴町小童在住

●塩貝八王子社、大神楽極打太鼓

塩貝の八王子社の氏子により伝承されているもので、小童須佐神社の夏の例大祭
の第3日の神儀の一団として、地区の氏子により奉仕される。太鼓衆人3人、笛1人、
手捕子釘1人で、交替しながら打ち鳴らし、所作を演ずる。起源は明瞭でないが、
江戸時代中期に始まったようである。三次市重要無形文化財。





小富士山頂にある五輪の塔



道路改良が進んでいない頃の頼藤地区



五輪さん祭

行事がどこも出来なくなりようるよの。出来ることを早うから選択して残していくという形を考えにや、祭りも保存が難しいよね。今の五輪さんの祭りも上によ上がらんようだったけえ、集会所でやるようになりつつある。昔は祭りは楽しみだったんじゃが。

五輪の塔なんじゃがの、石がなあね全部は。昔の子どもが投げて遊ぶようたんじゃげな、そしたら山が急なけえ転げていつてわからんようだったんよ。五輪の塔いうのは五つ無けにやあいけんのじゃけえ。一番上がないんかの。そのお詫びに下から子どもが石をどんどんどんどん上に持って上がったんよ。

三・四〇年前の思い出いうたら物は無くなつとるし、人はおらんようになるし、記憶も薄れてくるし、風景は変わってくるし。俺らの若い頃には、頼藤に木の橋があつて、ようあがあな橋を渡りようったね。危ない橋だったけえの。穩地の水車もあった、製材しようちやつたんよの。川の形を残しときゃ良かったよの、溪流でのお。滝があつてええ遊び場だったけえ。末重の裏も堰になつとつて、ゴビいうこまい魚やハエなんかがよけえおつてなあ。自然の形を残したまま道路改良する方法もあつたらうになあ。子どもの頃は、川土手もきれいに草を刈つてあるし、川の中を通つてすうつと塩貝まで帰りようったよの。



※曾我兄弟の仇討ち

1193年、鎌倉時代初期の武士、曾我兄弟が父の仇討ちを果たす。兄十郎祐成はその場で討たれ、弟五郎時致は翌日打首となる。その後、歌舞伎や映画などになる。日本各地に墓があり、様々な逸話が伝えられている。



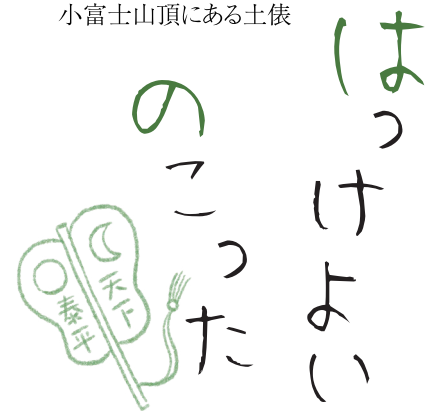
近藤史朗さん
昭和30年生まれ
甲奴町小童在住

た、という言い伝えがあるんよ。五輪さん祭いうのは、それを供養するために、五輪の塔を建つてあつて、塩貝の者が山へあがつてお寺さんにお経をあげてもらつて、子どもがそこで相撲をとつたというのが事の起こりなんよ。そこで相撲をとりゃあ、新しい鉛筆やノートをもらようつたよ。塩貝のほとんどが集合してしようちやつたよの。昔じゃけえ、菓子やこと買うちゃあないけえ、いわゆるどんぶりものいうか、当番で野菜か何か煮たりしてしようつたような記憶があるなあ。みんなで持つて上がつて食べて、相撲をとつて、祭りよな。昔は山が整備してあつたけえぐるうつと周りが見晴らせて。今は一部の方向しか見えんけど。今は相撲はとりようらんよ、子どもがおらんけえの。昔は学年で優勝を決めたりしようつたんじゃけどもの。

塩貝にはよけえ祭りがあるんで、年に五回ある。昔は塩貝三十軒、家があつたらしい、今は十五軒。半分になった。じゃけえなあ、昔からの



小富士山頂にある土俵



五輪さん祭（小富士祭）

こうぬマス釣り大会



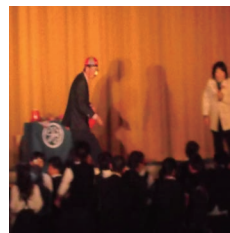
マスの大きさを競う大会で、毎年町内外の太公望で賑わいます。売店もあります。



毎年5月の日曜日早朝から、小童須佐神社祇園駐車場そばの小童川で行われます。

きょうつたねえ。鯉もかなり釣ったのお。飲み飲みやるのがええねえ。へえから、よう工作もするわあ、花瓶作ったりの。どういうことあなあ、やりようつたねえ。

三人おりやあええねえ、こんなあのお、祇園さんにやつちやるきやいうての、店でもするきやいうての、うなぎ釣りをするきやいうて。こがんして飲みようろう、そうすりやあ一人が言い出すわけよ、二人じゃ意見が止まるねえ、もう一人おりやあ、そうはゆうてもこれもええかのおゆうて、わしやあこう思うようゆうて。「三人よれば文殊の知恵」いうての、二人いうのはできんねえ、三人がええねえ。四人おつたら話がつれるねえ。祇園さんにはちよつとやるきやあいうて飲むねえ、こんなあ、あつこの川でのマスを放あてマスを釣るのもええどゆうての。魚釣り大会をやつたらおもしれえど、あつこでのゆうて、へじやが鯉なあと放してえちやろうかゆうての、やつたこともあるよ。



●小童年忘れフェスティバル
毎年11月末日曜日、小童小学校の発表会後の午後行われる小童地区恒例の行事。地元のみなさんの芸能発表などで楽しめます。
←写真は清水さんのマジックショー

ポプラの木があつたね、こうような。わしや、ようクソ悪さをしたねえ、宮部で遊びようつた、広場があつてのお。なんやらかにやのお。

ほんまわしやあクソ悪さをようしとるで、ほんま。へじやがの人間いうのはおかしいもんで、一人じやようせんもんよ。「三人寄れば文殊の知恵」いうての、三人おつたら、面白えことをする。三人おつたら何でも出来るぐらいよ。わしやあまあもうだめじゃがの、昔はの、やつてみるきや言うたら、二人ぐらいのもんよ、もう一人探あて来るかいいうて、よし三人おりやあええどいうて、魚を釣つてさばあて食うかいいうて、まあよう遊んだもんじゃ。若あころはたいてい魚釣りは峠奥の池よ、峠奥の池はよう行きようつたあ、ハエを釣りに行



清水富夫さん
昭和10年生まれ
甲奴町小童在住



正面の校舎は明治37年に改築、向こう側の校舎は昭和14年に建てられた。左にポプラの木がある。

砂走さんの小屋があるところへ小学校があつたねえ。山岡さんの畑がある石垣の上が校舎よ、下が運動場だったねえ。二階建ての校舎でのお。わしらあ、あつけえ行つたんで、小学校は。大きな



マス釣り

くそ悪さ
しよあつた
砂走さんの小屋があるところへ小学校があつたねえ。山岡さんの畑がある石垣の上が校舎よ、下が運動場だったねえ。二階建ての校舎でのお。わしらあ、あつけえ行つたんで、小学校は。大きな

マス釣り大会
憧れの里

小童が
ふるさとに
なるー！

御水汲み神事出発前の成年会



根岸さんご家族

長女の小学校入学をきっかけに、三次市甲奴町小童に住む事になりました。

私の実家は大阪府枚方市です。（まいかたちゃいます、ひらかたです）枚方市は人口40万人が住む大きな街です。私は、1クラス35人が6クラスもある小学校で育ち、全校生徒が多すぎて名前など覚える事すら不可能でした。

それが長女が小童小学校へ入学し、全校生徒の数を聞いてびっくり！ 30人もいない！？ 複式学級！？ 当初は戸惑いと驚きが実際ありました。が、今では沢山の方々と『会話』をし『一緒に笑い』また『お世話になったり』と、小童ならではの温かさを凄く感じ、楽しいひと時を現在も過ごさせて頂いております。私自身も歴史のある小童成年会の会長職を2年間勤める事になり、数々の経験をさせて頂きました。

小童のいいところですが、都会と比べて、お水・お米が美味しい。他にも美味しい物は沢山ありますが、代表的な物で答えさせて

頂きました。それから、人との繋がりが強い事。例えば、ご近所様から旬の野菜が頂ける事。家に帰ると玄関先に白菜が10玉置いてあったので、私は心の中で『ワシは業者か！』って叫んだ事もありました。（笑う所です！）ある時には大根が10本置いてある事もあり私は心の中で『新手のストーカーか！』っと再度叫びました。（笑って下さい）

冗談はさておき、最後まで読んで頂き、ありがとうございます。小童の夜空には、星が綺麗に輝いてます。これからも輝く地域の皆様と一緒に邁進していこうと思っておりますので、これからもよろしくお願い致します。



根岸家の子どもたち



根岸至亮さん
昭和51年生まれ
甲奴町小童在住
平成22年Iターン



もっと矢張りたくなったら

てくてくこうぬ: <http://kounu.jp>

お祭り・イベントに来てみたい

甲奴町観光協会 Tel 0847-67-3535

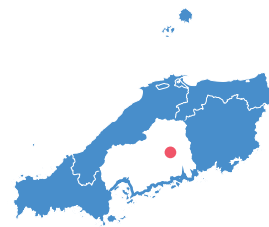
住んでみたくなったら

三次市市役所 Tel 0847-62-6111

甲奴支所 Tel 0847-67-2121

小童コミュニティセンター

Tel 0847-67-3304



私達の住む小童。広島県の山間、
三次市甲奴町にある地域です。

制作にご協力いただいたみなさん
ありがとうございました

取材協力 ● 小童のみなさん

写真提供 ● 千葉宏治さん 小童のみなさん

資料提供 ● 小童小学校

制作 小童地区振興協議会 小童成年会